

阿東地域

## 阿東地域づくり協議会

### ★活動の概要

地域づくり協議会設立2年目 地域づくり計画策定委員を選定し 5か年計画づくりを始めています。

### ★交付金額

12,314,999円

### ★地域の情報(地域づくり協議会単位)

|             |                             |
|-------------|-----------------------------|
| 地域人口        | 6,840人                      |
| 世帯数         | 3,072 世帯                    |
| 地域のキャッチフレーズ | 美緑あるまちづくり、考えてみよういね、やってみよういね |

※数値は、平成24年3月31日現在のもの

### ■ 嘉年かかしまつり

農作物の豊作や交通安全などを祈願し、親睦を深めながら、住民総参加による明るい地域づくりを目指して実施しています。

自治会等で作成した「かかし」は、7月31日から8月31日まで嘉年基幹集落センター前広場に展示し、多くの人の目を楽しませています。

来場者に作品の人気投票を行っていただき、投票順に「かかし大賞」「優秀賞」「佳作」を選定します。「かかし大賞」に投票された中から抽選によりラッキー賞として地元特産品を送っています。



### ■ 地域づくり計画策定

山口県立大学の坂本俊彦先生と阿東地域づくり計画の共同研究をしました。

篠生、生雲、地福、徳佐、嘉年地区住民と意見交換会を行ったところ、多くの問題があることがわかりました。

地域づくり計画策定委員会を立ち上げ、14名の委員を選出し、地区の課題、問題点を検討した上で、中期5か年計画を策定しました。将来に夢が持て安心して生活ができる阿東づくりを目指してがんばります。



## ■ 生雲さくらの園づくり

生雲小学校の旧校舎跡地と、生雲八幡宮参道の間の市有地を借り受け、桜の木を植える「桜の園づくり」計画を進めています。

8月初めに、広さ約500平方メートルの敷地を自治会の役員を中心に整地し、11月に、手始めとして、まずは10本のしだれ桜を植えました。「来年の春、少しでも花が咲いたら、花見をしようやあ。」と交わした約束でしたが…。4月、期待以上の花が咲き、総会の後にさっそくみんなで花見を楽しみました。

これからも、桜の植樹や休憩所の設置など、毎年少しずつ整備を進め、将来的には、地域の皆さんのいこいの場所『桜の園』になればと考えています。



## ■ ふれあい健康ウォーク



11月20日 第1回地福ふれあい健康ウォークを実施し、地福地区の歴史や文化に触れながら親睦を深め、みんなで心地よい汗を流しました。

## ■ 長門峡もみじ祭り

山口市を代表する観光地「長門峡」で11月3日に第30回長門峡もみじ祭りを開催しました。

紅葉は少し遅れていたものの、県内外から多くの観光客にお越しいただき、地域特産品の販売、アトラクション等によりイベントは大盛況でした。





徳地地域

## 徳地地域づくり協議会

### ★活動の概要

平成21年6月に徳地地域づくり協議会を発足し、自治会と地域で活動している団体と協働して地域づくり活動に取り組んでいます。

### ★交付金額

18,930,000円

### ★地域の情報(地域づくり協議会単位)

|             |                                  |
|-------------|----------------------------------|
| 地域人口        | 6,899人                           |
| 世帯数         | 3,099世帯                          |
| 地域のキャッチフレーズ | 豊かな自然と里山が調和した<br>やすらぎとふれあいのまちづくり |

※数値は、平成24年3月31日現在のもの

### ■ 地域交流事業

毎年11月の第1日曜日に、「活力と潤いに満ちたふるさとづくり」を目指し、地元住民はもとより都市部の住民との交流を深めるとともに、地域の活性化を図るために「徳地フェスティバル」を開催しています。



### ■ 広報活動

徳地地域の情報発信を行う地域広報紙「ふるさととくじ」を地域住民(「徳地づくり達人塾」)とともに協働で作成し、毎月1回発行しています。

地域情報の収集は、取材から編集まで一括して地域住民が行っています。



## ■ 各地区での活動

徳地地域では、出雲、八坂、柚野、島地、串の各地区でもそれぞれ活動が行われています。

### ■ 健康増進活動事業

各地区の特色を活かしたウォークラリー、歩こう大会を実施し、地域住民の健康増進と他地域との交流を盛んに行っています。



※ 歩こう大会は、出雲、八坂、柚野地区でも実施しています。

スポーツを通じて地域住民の体力向上を図るとともに、住民同士の交流と地域連携を深めるための体育行事を実施しています。



## ■ 環境美化活動事業

地域をあげての清掃活動を行うことにより、住民同士の心のふれあいと、住みよい生活環境を自らつくるという意識を高めています。



### 【今後の地域づくりに向けた思い・取り組み】

徳地地域は少子・高齢化や過疎化が他地域に比べて進んでおり、これまで培ってきた近隣の相互扶助、地域内の交流、祭りの継承など、様々な分野に影響が出始めています。

地域住民みんなで地域について考え、「住みやすく、いつまでも住んでいたい地域」を目指して今後も活動していきたいと思っています。



仁保地域

## 仁保地域開発協議会

### ★活動の概要

昭和45年から「むらづくり」に取り組んできた仁保地域開発協議会が地域づくり計画を策定し、地域づくりに取り組んでいます。

### ★交付金額

9, 435, 000円

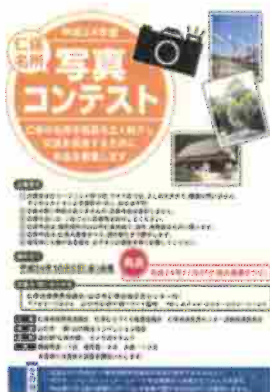
### ★地域の情報(地域づくり協議会単位)

|                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| 地域人口            | 3, 352人           |
| 世帯数             | 1, 380世帯          |
| 地域の<br>キャッチフレーズ | 心が通う<br>住みよい地域づくり |

※数値は、平成24年3月31日現在のもの

### ■ 名所写真コンテスト

地域内の交流人口の増加を図るため、作品展示やパンフレット、ホームページへの掲載など、広くPRを行いました。(応募作品数93点)



最優秀賞作品



優秀賞作品



### ■ 住民アンケート・住民座談会

アンケートを実施し、住民の意向を把握するとともに、全集落を対象とした住民座談会を開催して、地域づくり活動についての意見・要望を広く聴く機会を設けました。



#### アンケート

実施期間：平成23年8月～9月

回収率：83.5%(仁保地区全戸を対象)

#### 住民座談会

開催時期：平成24年1月～2月

## ■ 中学生の人権啓発標語看板を設置

仁保中学校と連携して人権啓発標語の看板を作成し、地域内の各所に設置して、人権意識高揚に向けた啓発を行いました。



仁保中学校生徒がつくった人権啓発標語の看板を仁保地域内14箇所に設置

## ■ サル被害防止活動

仁保地域では、野生のサルによる農作物被害が大きな問題となっています。

平成23年、仁保全域を対象とした仁保地区鳥獣被害対策協議会を立ち上げ、地元住民18名による見廻り隊が定期的な見廻り・追い払い活動を開始しました。



見廻りの際には軽トラにのぼりを掲げ、見廻り中であることをアピールするとともに、その結果をJAの有線放送を通じて知らせるなど、被害防止に努めています。

## ■ 道路沿いの空き缶を清掃

美しい環境づくりの一環として、道路沿いの空き缶清掃を行いました。

地区内のほとんどの集落が参加するとともに、事業所や団体からも御協力をいただき、集落単位で空き缶やごみの清掃活動を行いました。



平成24年  
2月実施



集落単位に行ったことで、自分たちが住んでいる集落の美化意識が高揚するとともに、ポイ捨てや不法投棄の撲滅の必要性を参加者一同が痛感しました。

### ※ 今後に向けての思い、取り組みなど

地域づくり計画実践の2年目となり、初年度の活動を充実するとともに、新たな活動にも取り組みました。

特に、地域住民の意向や意見・要望を把握するため、住民アンケートや住民座談会等を実施し、今後の地域づくり活動の方向性を検証しました。

今後、さらに地域の課題を整理し、個々の活動内容の評価を行いながら、大きな目標に向かって行政との協働活動を深め、進行管理しながら住民参加型で取り組みを進めていきたいと思っています。



## 小鯖地域づくり協議会

### ★活動の概要

5専門部会を中核とした活動を展開しながら、新たに5特別委員会を設け、各会の相互連携を深めながら活動するよう努めています。

### ★交付金額

8,575,268円

### ★地域の情報(地域づくり協議会単位)

|      |         |
|------|---------|
| 地域人口 | 4,573人  |
| 世帯数  | 1,916世帯 |

※数値は、平成24年3月31日現在のもの

## ■ 安心安全・健康福祉

### ヒヤリマップ

地域内の事故防止を促進するため、各自治会長の協力のもと、危険箇所や危険要因を地図に記した「ヒヤリマップ」を作成し、全戸へ配布しました。今後、交通安全教室の開催などと併せて、交通安全運動を進めていきます。

### ウォーキングマップ

急激な高齢化が進んでいる中、健康の増進を図ることは重要な課題となっています。地域区内の名所・旧跡・寺社等を楽しくウォーキングできるマップを作成しました。今後は、より一層愛好者が増えるように、体験研修なども工夫していきます。



## ■ 正田山環境整備

昨年に引き続き、正田山頂上に位置する水道タンクの壁画(2階部分)を塗り替えました。

秋雨の降る中、40名程度のボランティアによる巧みな刷毛さばきにより、「おいでませ山口国体」のマスコット「ちよるる」も描き足され、鮮やかな壁画として蘇りました。

地域住民憩いの場として正田山が活用されるよう、整備を続けていきます。



## ■ 小鯖ふるさとまつり

地域住民が一堂に会し、ふるさとを愛し、ともにふれあう機会として「小鯖ふるさとまつり」を開催しました。

地域内から広く企画員やアイデアを募り、当日は活動団体等の様々なコーナーが設けられるなど、総合的な文化活動として一層盛り上がりのあるまつりとなりました。



## ■ 環境美化

### 山口国体クリーンアップ運動 in 小鯖

山口国体を迎えるに当たり9月25日(日)に国道262号線沿いのクリーンアップ運動を実施しました。子ども会・豊寿会・自治会等多くの団体が参加し、見違えるように美くなりました。

各自治会単位で実施される道路・河川清掃を一段と強化し、環境美化に努めていきます。



### ※ 今後に向けての地域の思い、取組み

心豊かで住みよい地域づくりを目指して、活発な活動を繰り広げています。今、生活課題の検討から始め、中長期の地域づくり計画の見直しを図っています。広く住民の声を集約して、多くの住民参加による地域づくりに取り組んでいきたいと思っています。



大内地域

## 大内まちづくり協議会

### ★活動の概要

大内まちづくり計画(5ヵ年)の実施一年目で、繰越事業を含め、計画された事業を全て実施することができました。

### ★交付金額

15,204,050円

### ★地域の情報(地域づくり協議会単位)

|             |                     |
|-------------|---------------------|
| 地域人口        | 22,456人             |
| 世帯数         | 8,951世帯             |
| 地域のキャッチフレーズ | ふるさとを愛し、笑顔でふれあうまち大内 |

※数値は、平成24年3月31日現在のもの

### ■ 大内の集い(第33回 大内まつり)

今年度は、震災の影響で中止するかどうかぎりぎりまで熟慮しましたが、恒例のもちまき等を中止にし、東日本大震災の復興支援チャリティイベントとして、実施しました。

当日は天候にも恵まれ、大内地域住民のみならず近郊の地域からも数多くの来場者があり、延べ3500人の参加のもと、盛大な春祭りとなりました。

日ごろの公民館活動の成果の発表の場でもあり、地域の連帯感の向上や、さらなる地域の活性化につながる内容となりました。



### ■ 大内地区防災マップの作成・配布

平成21年7月21日の集中豪雨で大きな浸水被害を受けた箇所状況を反映した『大内地区防災マップ』を作成し、9月1日の防災の日に、地域内全戸に配布をしました。

自分の住んでいる所が、自然災害でどんな影響を受ける恐れがあるのか、また最寄りの避難場所の確認や経路・方法などを再確認できるようになり、住民のみなさんから好評を受けています。来年度は、大内地域への転入者にも配れるよう増刷を検討しています。



## ■ 問田川の重機による草刈り

平成22年度の繰越事業として、重機(クサカルゴン)により問田川の草刈りを実施しました。

当初は大内地域内の問田川全域と仁保川を実施エリアとして考えていましたが、雑草の量が多く作業が捗らず、実際に実施できたのは、問田川の2箇所(のべ約700m)の範囲でした。作業した箇所は写真を見ていただければ分かりますが、見違えるようにきれいになりました。

今後は1年間の雑草の伸び具合等の様子を見て、平成25年度以降に予算化を検討します。



## ■ 心とからだのリフレッシュ

健康福祉部会主催の“活力ある大内のコミュニティづくり”のワークショップ(全4回)の一環として、健康体操教室「心とからだのリフレッシュ」を開催しました。

当日は、約40名が参加し、「やまぐちスポーツの森」の梶原稔先生にご指導いただき、ストレッチや筋トレなどを行うとともに、風船を使ったグループゲームなどを行いました。みなさんの笑い声が絶えず、見も心もリフレッシュすることができ、大盛況でした。



※ 今後に向けての地域の思い、取組みなど『大内まちづくり計画』の2年目を迎え、より豊かで住みやすいまちづくりへ向け、着実に一步一步前進して行きたいと考えています。



## 宮野地域

# 山口市宮野地区地域づくり協議会

### ★活動の概要

「みんなに やさしい のびゆく まちづくり」を基調に地域住民及び各種団体の連携・融和を図り、地域課題の解決に向けた活動を活性化し、地域づくりの推進を図ります。

### ★交付金額

9,658,853円

### ★地域の情報(地域づくり協議会単位)

|             |                      |
|-------------|----------------------|
| 地域人口        | 15,373人              |
| 世帯数         | 6,838世帯              |
| 地域のキャッチフレーズ | みんなに、やさしい、のびゆく、まちづくり |

※数値は、平成24年3月31日現在のもの

### ■県立大学と地域住民との大交流会

一足早いお正月を宮野で味わおう！！

宮野の「おせち」で交流しました

「お正月に古里に帰れない学生もいる」という話を聞き、テーマを「おせち料理」に決め、一緒に手作りして会食し、交流を深めました。

県立大学からは、江里学長、職員及び学生総勢25名の参加があり、地域からは、自治連合会女性部と老人クラブ「宮野明朗会」など30名の参加があり、たいへん賑わいました。

地元宮野で作られる一般的な「おせち料理」のうち、数の子・田作り・黒豆・紅白なますなど、12品を作り、重箱に詰めて参加者に披露しました。

学生からは「田舎の祖父母と一緒にいるみたいで、田舎を思い出した。」などの感想が聞かれました。次年度以降もメニューを変えて開催する予定にしています。

### ■宮野キッズ守り隊

「地域の子は地域で守る」

宮野キッズ守り隊の再出発！！

地域の宝である子ども達を取り巻く環境の変化は著しいものがあります。

このような環境から子ども達を守りたい、地域の子は地域で守るという志から「宮野キッズ守り隊」を再編し、再出発をしたところです。

無理なく長く活動することを前提に、協力者にビブスを配布し、下校時に「声掛け」を行うなど、「安心感の提供」を図っています。

今後、守り隊の輪を広げ安心・安全な地域づくりを推進していきます。



## ■文化・伝統事業支援

### みやの地域と市内の“伝統行事”への 参加と文化伝統の伝承を支援します

地域の活性化と伝統文化の伝承及び参加者の交流の場として役立っています。

宮野地域では、「ふるさと宮野古典保存会」が地区民を中心に組織され、「岡の原天満宮」に奉納された備立行列と長持並びに輪飾り等の技術の継承のほか、古くから伝わる唄の伝承者の養成に取り組んでいます。

毎年11月の「岡の原天神祭」では、長持行列を運行し、貴重な無形文化財を永く後世に伝える取り組みをしています。

このような地域の伝統文化行事への参加や継続に取り組む活動団体へ支援を行っています。



## ■みやの歴史、文化、自然写真コンテスト

### 第2回 みやの歴史・文化・自然写真 コンテストを開催

宮野の名勝・旧跡・文化及び自然を表現し、宮野地域を広くアピールできる作品を募集しました。

地域の素晴らしさを表現した、写真38点(14人)の応募がありました。

地域の隠れた名所や四季折々の作品が多く出展され、2月に開催した写真展では、多くの皆さんが観賞されました。

引き続き写真コンテストの開催により、地域の皆さんに宮野の良さを再認識していただき、地域の活性化に活用していきます。



### 【今後に向けての地域の思い、取り組み】

「みんなに やさしい のびゆく まちづくり」  
安心・安全な地域づくりを基本に、地域住民が意欲を持って取り組める創造性あふれる地域づくり活動を展開していきます。



## おおどのコミュニティ協議会

### ★活動の概要

三年次にあたる今年は、ダイナミックな連携をする年、活動を見直しニーズに向かって再構築する年、「つくる」をめざした年でした。

### ★交付金額

8,131,960円

### ★地域の情報(地域づくり協議会単位)

|             |                  |
|-------------|------------------|
| 地域人口        | 7,712人           |
| 世帯数         | 3,860世帯          |
| 地域のキャッチフレーズ | ゆったり にっこり<br>きらり |

※数値は、平成24年3月31日現在のもの

### ■ 住民・地域・行政をつなぐ事業

#### 「つながる大殿七たちょうちんの灯」

歴史の灯、心の灯として、軒先ちようちん・大殿七たちょうちんで地域住民がつながり、五重塔から湯田地区まで地域でつながり、国体の炬火として国体推進局や観光課とつながり、大きな物語の出来る祭りとなりました。



大殿・白石・湯田連携



3000本の軒先ちようちんづくり



国体炬火



### ■ 次へつながる第一歩研修事業

私たちは、個々のつながりや絆は、活動だけでなく、共に磨き合う研修と親睦が重要だと考え、ふるさと研修、全体研修、リーダー研修の三つの研修を実施しました。

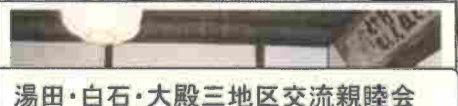


ふるさと研修

「祇園祭り」パネルディスカッション



リーダー研修



湯田・白石・大殿三地区交流親睦会



### ■ 世代をつなぐ事業

#### 「健康づくり・三世代ウォーキング」

健康福祉委員会主催の「老いも若きもふるさと道中」を楽しみ、大殿にまつわる手作り紙芝居、「一の坂川さくら物語」「山口に残った五重塔」を見ました。



### ■ 町内をつなぐ事業

#### 「大殿安心安全の研修会」

安心安全委員会の主催で、自主防災意識の高揚へのきっかけづくりをするために、近くの町内の皆さんとグループワークで「予想される災害」について意見交換をしました。



### ■ 地域の文化をつなぐ事業

#### 「あなたも雪舟 水墨画に挑戦！」

文化体育委員会の主催で、華やかな大内文化を今につなぐ活動として水墨画のワークショップを開催しました。「箏曲組歌」の再現による中学生の和歌づくりも行いました。



### ■ 未来へつなぐコミュニティ事業

#### 「地域づくり計画策定会議」

これからのおおどのコミュニティ協議会を考える策定会議が、30名のスタッフで13回の協議を経て、提案項目を決めました。地域のニーズを中心にした、解決のできる「住民自治の力」をつける体制づくりが課題でした。



「山口市協働のまちづくり条例」をバイブルとしての3年間は、思考錯誤の連続でした。わずかながら、理解者も増えました。しかし、作られた目標に導く手法から、意見を集約して課題解決する手法への転換が今求め始められました。「私たちの町は私たちの手」という「つながりと絆」による、しなやかで、したたかな「住民自治の力」をつける正念場への、第二期おおどのコミュニティ協議会となる3年間に向かっているところです。



白石地域

## 白石地区地域づくり協議会

### ★活動の概要

白石地区地域づくり協議会は、地域づくりの主体となり、地域のさまざまな団体と連携し、地域課題の解決に向けて積極的に取り組む会です。

### ★地域の情報（地域づくり協議会単位）

|      |         |
|------|---------|
| 地域人口 | 10,604人 |
| 世帯数  | 4,763世帯 |

### ★交付金額

4,117,091円

※数値は、平成24年3月31日現在のもの



### ■ 地域個性創出【白石探訪会】

参加者が「白石地区探訪マップ」を参考にしながら、地元の史跡・旧跡をめぐるります。自分たちが暮らすまちの歴史を学ぶことで、地域に対する関心、愛着を深めることができました。



### ■ 安心・安全【危険箇所マップ作成】

白石小のPTAが作成した、白石校区の危険な場所をまとめたマップです。

車や自転車の通行量が多い道路、信号のない横断歩道などにチェックマークを付け、一目でわかるようになっています。

地域の皆さんに役立てていただきました。



### ■ 地域福祉【ゴミ出しボランティア】

ゴミを収集場所まで運ぶことが困難な高齢者を、サポーター登録した地域住民がお手伝いする事業です。

## ■ 地域交流【白石フェスティバル】

地区の一大イベントである白石フェスティバルは、地域の住民による多彩なステージ、山口朝日放送から地域交流センターまでの区間を走るミニ SL、よさこい連による中市商店街から地域交流センターまでの「練り歩き」、地区行事で収穫したさつまいもを使った焼き芋など、盛り沢山で例年以上の内容となりました。



# はじめての 検討委員会

各団体から24年度事業として提案された事業の実施に関し、地域住民により構成された「検討委員会」で事業内容を協議しました。事業の採択・不採択は協議の中には入りません。

団体には

- ◆事業の対象
- ◆事業の意図
- ◆事業の目標

をしっかり設定し、事業計画を考えていただきました。

検討委員は提出された事業シートを採点基準にもとづいて採点、1人1人が意見を述べて、最後に委員全員で

- ・ どうしたらもっと良くなるか
- ・ もう少し変更を加えてみてはどうか
- ・ 同じ内容の既存事業があるので合同でやってみてはどうか

…というような総括コメントを決定し、理事会に提出しました。

はじめてのことなので、団体も検討委員も手探り状態ではありましたが、事業効果を上げ、より良い事業内容となるように、皆で考えて、皆で取り組みました。



湯田地域

## 湯田地区コミュニティ運営協議会

### ★活動の概要

高齢者や子どもの福祉、環境美化等に関する事業を進めています。国体関連事業も積極的に取り組みました。

### ★交付金額

9,061,190円

### ★地域の情報(地域づくり協議会単位)

|                 |                           |
|-----------------|---------------------------|
| 地域人口            | 12,613人                   |
| 世帯数             | 5,647世帯                   |
| 地域の<br>キャッチフレーズ | 優しく、美しい、誰もが、<br>安心するまちづくり |

※数値は、平成24年3月31日現在のもの

### ■ 権現山里山づくり

住民の憩いの場として、権現山の整備を続けています。地域の方々の協力による草刈りや、桜の苗木等の植樹をしています。



### ■ ふれあい会食会

独り暮らしの高齢者を対象に、昼食会を開催し、アトラクションや歌で交流しています。



### ■ 国体推進事業

手作りで応援グッズを作成し、ラグビー観戦をしながら選手を応援しました。

#### 応援グッズの作成



#### 試合会場で選手の応援



### ■ 子どもの広場

子ども達の健康増進と親睦を深めるために、体を動かし、スポーツに親しむ行事を開催しています。



### ■ 環境美化活動

地域にある公園や花壇、地下道の美化活動を推進しています。



### ■ 土木工事(法定外公共物)

古くなって傷んできた道路を整備しています。

工事前



工事後



### ■ ふるさとまつり

ふるさとまつりは、毎年、数多くの方の参加で大盛況です。





吉敷地域

## 吉敷自治会

### ★活動の概要

地域内の交流促進を中心に心豊かに暮らすための計画を策定すると同時に、業務多様化により事務局体制の強化を図っています。

### ★交付金額

10,608,200円

### ★地域の情報(地域づくり協議会単位)

|                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| 地域人口            | 14,530 人          |
| 世帯数             | 6,016 世帯          |
| 地域の<br>キャッチフレーズ | 笑顔あふれる<br>ふれあいのまち |

※数値は、平成24年3月31日現在のもの

### ■ 環境美化事業

吉敷畑と中尾西にある桜の樹広場の草刈り作業を行いました。「吉敷の名所」になるようにと、多くの方の参加をいただき、うっそうとした下草がきれいに刈られました。

5ヵ年計画の中にも「桜の樹広場」を憩いの場とする内容が盛り込まれています。



### ■ 地域コミュニティ活性化事業

夏まつりでは、吉敷地域から東日本に向け「つなごう！希望！！吉敷も応援しています」と会場いっぱいに竹のポンポラに灯を灯し、



会場の全員が、365歩のマーチを元気に歌いました。

秋のふるさと

まつりでは「ふれあい」をテーマに、ふれあい子ども神輿が会場を練り歩き、ふれあい標語を募集するなど、ふたつのお祭りりで、地域がひとつになることが感じられました。



## ■ 人権推進事業

吉敷地区人権推進講演会の開催に合わせ、吉敷地域交流センターに、子ども達からの応募による「人権標語」の懸垂幕を掲げ、作文やポスターも披露しました。



## ■ 国体クリーンアップ大作戦

国体会場となった維新百年記念公園がある当地域では、自治会を中心に子ども会も参加するなど「国体花いっぱい運動」に積極的に取り組む、国道9号線沿いのクリーンアップを実施しました。きれいな街として全国の方々をお招きすることができたと思います。また、地域で育てた花たちは、西京スタジアムに、お嫁入りをしました。



## ■ ホタルが飛び交う吉敷川



良城小学校のホタル

委員会と協力し、ホタルの住むふるさとの川をきれいにし、ホタルの採取、増殖、放流を行いました。活動を通じて、環境意識を高め、ふるさとへの愛着を感じることができました。（春、桜が咲き誇る土手もあり、あたりを公園に整備していこうとする計画があります。）

## ■ 地域で見守り活動

地区社協と共催で地区内の見守りについて、研修会を開催しました。

町内会ごとに地図を広げ、見守りが必要な

方々の確認をしました。

現在、この活動に加えて、各町内の防災



組織を立ち上げる準備を進めているところです。



地域づくりを進めるにあたり、地域内に様々な活動団体が活躍されていることが分かりましたが、同時に、地域づくりを推進するためには、それら団体の組織の改編、またそこで活動されている方々を知ることが必要だ、という新たな問題点が見つけられました。まず何をすべきかの方向性が見出せました。



## 平川コミュニティ推進協議会

### ★活動の概要

情報の共有と、団体間や地域とのつながりが持てるよう、互いに協力し、親睦を大切にして活動しました。併せて、安心安全なまちづくりを目指した活動に取り組みました。

### ★交付金額

13,364,062円

### ★地域の情報(地域づくり協議会単位)

|                 |         |
|-----------------|---------|
| 地域人口            | 15,790人 |
| 世帯数             | 7,479世帯 |
| 地域の<br>キャッチフレーズ | つながる笑顔  |

※数値は、平成24年3月31日現在のもの

### ■情報の発信

#### ○ 平川コミュニティだより

平川コミュニティの活動の紹介に加え、平川地域の自然や郷土料理等も載せた広報誌を年3回発行しました。手にとってもらえるような紙面づくりに心掛けています。

#### ○ 平川便利帳

平川地域の公共機関や医療機関、飲食店など、暮らしに役立つ一覧表の冊子を発行しました。地図と位置も載せています。

#### ○ ホームページ維持管理

コミュニティの情報だけでなく、住民に関係する行事、平川地区での活動を日々更新し広く、閲覧してもらっています。



### ■ 安心安全なまちづくりにむけて

#### ○ 地域防災を考える研修会

自主防災組織づくりに向けて、山口大学の三浦教授を招いて2回にわたり研修会を開催しました。研修では、現地踏査を行い、改めて、災害や避難方法について考え直しました。

#### ○ つながるあいさつ運動

各団体や自治会などと連携をとりながら朝の見守り活動を展開するために、平川地域内の10箇所で交通量や通学児童・生徒の様子を調べ、結果を冊子にして学校や自治会等に報告しました。多くの住民に活動に対する興味を持ってもらうため、各団体と連携を図りながら、今後も続けていきます。



## ■ 親睦・健康・子供の育成をめざした行事を開催

### ○ 健康増進ウォーキング大会

22年度に作成した「平川ウォーキングマップ」を活用し、健康づくりと交流を目的に、11月から3月までの毎月第2水曜日にウォーキング大会を開催しました。約50名の参加者たちは、毎回、心待ちにしているようで、季節を感じながら楽しんでいました。

### ○ 高齢者パソコン教室

6月から3月までの毎月2回、高齢者を対象とした「パソコン教室」を開催しました。自己紹介や冗談話も交え、パソコンの技術だけでなく、高齢者同士の交流や親睦を大切にしました。24年度も募集したところ、継続参加者も含め、あっという間に定員の50名に達しました。高齢者の居場所づくりの必要性を感じました。

### ○ 本物と触れ合う会

小学生・中学生及び地域住民を対象に、11月7日にNHKアナウンサー「ためしてガッテン」出演中の小野アナウンサーの講演会を開催し、アナウンサーになった経緯や番組の裏話をお聞きました。

また、3月4日にはヴィッセル神戸 U15監督で元Jリーガーの安倍雄大監督をお招きし、講演と実技指導を受けました。

話を聞いた子供たちの目は、夢を追いかける希望のまなざしに変わっていききました。子供たちは、興味を持つ内容も様々であるため、今後も多方面からの文化人やプロスポーツ選手と触れ合える場づくりを行い、夢や希望など、何かを感じて欲しいと思います。



## ■ 山口大学との連携

### ○ まちあるき

山口大学で地域との連携について学んでいる学生の呼びかけで、学生と地域住民が平川のまちあるきを行いました。それぞれの観点からみる平川は互いに新鮮に映りました。

### ○ 講座開催

富平教授による漢字講座を開催しました。参加者は、珍しい講座に興味津々の様子でした。

また、山口大学環境整備状況の紹介と懇親会の開催ほか、平川のまちづくりビジョン作成のために大学からアドバイスを頂いたり、また学生の研究に協力をしたりするなど、大学との連携を図っています。



## 大歳自治振興会

## ★活動の概要

自治会活動の活性化とともに、自主防災組織の設立のため各自治会に防災委員を設置し、研修会を実施しました。

## ★交付金額

10,464,610円

## ★地域の情報(地域づくり協議会単位)

|                 |                          |
|-----------------|--------------------------|
| 地域人口            | 13,155人                  |
| 世帯数             | 5,995世帯                  |
| 地域の<br>キャッチフレーズ | みんなでつくろう、明るく<br>住みよいおとしを |

※数値は、平成24年3月31日現在のもの

## ■ 地域の災害安全対策

今年度から、各自治会で選任した防災委員の研修会(9回)を開催しました。防災アドバイザーが要望のあった自治会へ出張して研修を行うなど積極的に活動をした結果、自主防災組織を設置したのが4自治会、継続検討が9自治会と防災に対する意識の高まりが感じられました。また、平成21年の豪雨災害の記憶を風化させないため、「おとし防災の日」を制定し、9箇所にも最高水位板を設置しました。

上湯田上自治会での防災研修会の様子



平成21年水害の最高水位版の設置



## ■ 自治会の活性化(1自治会1事業)

矢原住宅自治会のお手玉で三世代交流の様子



(子どもからお年寄りまで一緒に)

自治会内のふれあいを目的とした、地域清掃、世代間交流など、新規事業や行事を新しく始めた自治会に対して、その活動を支援するための助成を行いました。

2年目となる今年は実施自治会が若干増えて、16自治会で実施されたことは、日頃の地域活動への関心の高さが感じられました。

平成24年度も継続して助成を行い、自治会の活性化を進めていきます。

## ■ 子育て広場「風和里」の運営



子ども同士が自由に遊び、親同士が交流を深め、また、母子保健推進委員会を中心としたスタッフから子育てのアドバイスが受けられるように、子育て広場「風和里(ふわり)」を今年も開催しました(開催回数10回、延べ参加者約300名)。絵本の読み聞かせや、催し物もあり、参加者の育児に対する悩みやストレスも和らぎ、子どもや母親同士の交流も増えるなど、地域で子どもを育てる意識が高まったように感じます。

子育て広場「風和里」の様子



(サンタ! サンタ! とっ、楽しいひととき…)

## ■ 三世代交流グランドゴルフ大会の開催

8月27日(土)、大歳小学校で「第3回三世代交流グランドゴルフ大会」を大歳郵便局との共催で老人クラブの皆さんに協力いただき、開催しました。

夏の暑い日差しの中、小学5年生から83歳の方まで計47名が参加して行われました。おじいちゃんやおばあちゃんが、子ども達に教えながら和気あいあいとプレーを楽しんでいました。ホールインワンも飛び出すなど一喜一憂でした。

三世代交流グランドゴルフ大会の様子



## ■ 大歳駅の活用

山口国体の開催に合わせ、地域ボランティアを募り、改装された大歳駅に案内所を設置して、道案内やお茶、SLパネル展示等のおもてなしを行いました(来場者数2,600名、ボランティア人数延べ70名)。

国体終了後は、大歳駅を地域のふれあいの場として活用するため、検討委員会を開催(8回)し、2月には公募により愛称も「交流列車おとし」と決定しました。24年度から山口市指定管理者として、管理を行い、地域づくり活動を進めてまいります。

大歳駅でのおもてなしの様子



## ■ 今後に向けての地域の思い

「自主防災組織設立」に向けた検討の中で出てくる地域の諸課題を解決しながら、真に「安心安全で住みよい」大歳をつくりたいと思います。